

萌丘東幼稚園
萌丘東保育園 ほいくだより

2024



園長コラム

先日、無事に年長さんたちがお泊り保育に行ってまいりました。茶臼岳や那須の自然の雄大さ、みんなで入ったお風呂など、子供心に不安だったと思いますが、その一つひとつがかけがえのない体験となってくれたものと思います。また、今年は新たな取り組みとして、夜勤の代替え職員を配置して実施しました。今までそうでなかったのがお恥ずかしい限りですが、時代に合わせて長期的にお泊り保育という体験をこども達に提供していくために、今後も幼稚園・保育園の在り方を模索してまいります。

さて、東園の園づくりで大切にしていることを1つお伝えします。それはざっくり言うと「親として子供に体験させてあげたいけど、なかなか難しい体験」を取り入れていくことです。裸足保育や布おむつ、手作り給食や農園の野菜たちをはじめ、お泊り保育でいった茶臼岳の登山もそうですし、東園での生活には「いいとは思うけど、自分でやるのはちょっとなあ」と感じる体験がたくさんあるのではないかと思います。もちろん私たちは、ご家族でもそういった体験をしてほしいと思って保育していますが、強制はしません。ただ、東園に通っていたことがきっかけで、普段より一步踏み込んだ体験の輪が広がってほしいと願っています。なにも難しいことだけではなく、普段の自分よりワンランク上げてお子さんと話す。それだけで、その輪は広がっていくものです。こんなことを書きながら、はて？自分はできているだろうか？と思って恥ずかしくなりましたが、共に頑張りましょう！

大人になっても繋がっている

年齢の差はありますが、みんなと一緒に過ごすことに居心地の良さを感じてきているようです。誰かと一緒なのは楽しいことばかりじゃないですが、やっぱり誰かと一緒がいいよねって思えるには、この時期の人と人とのかわりの影響が大きいですね。



子育てって...。 黒崎陽美

息子は今年で6歳。私も母になって6年。

比較的、手のかかる子ではなかったけれど、それでも子育ての壁には何度もぶつかってきました。

大人だって間違えたり、わからないことがあったりするんだから、子供の方が沢山間違えたり、わからないことがあったりするのが当然なのに、他の子と比べてしまったり感情的になってしまったり...

悩んでは相談し、話を聞く中で、色々な考え方や育て方があると知って「子育てに正解も不正解もない」と思うようになりました。

これからも沢山の壁にぶつかるとは思いますが、毎日息子が笑顔で過ごせるように親子で共に悩み、成長していけたらいいなと思います。



久しぶりに帰ってきました

幼稚園、保育園共に久しぶりの試食会となりました。多くのご参加ありがとうございました。まだ実施できていないクラスなどもありますが、順次開催していけるように準備を進めていきます。親子で東園を過ごしている姿を見るのはいいものですね。





親元を離れて

皆さんはお泊り保育の思い出がありますか？私はみんなと寝ているときに見た天井の感じを今でも覚えています。天井という微妙な記憶ではありますが、その思い出には楽しさや温かさがセットになっており、自分が人に愛されて育てられた記憶にもなっています。今年の年長さんにとってどんな思い出になってくれるのでしょうか。

